



高きつずサポーター養成講座開催 高齢者へのいたわり学ぶ

認知症きつずサポーター養成講座が10月4日、白羽小学校で開催され、4年生54人が参加しました。高齢者や認知症について知ってもらい、高齢者に優しいまちづくりを目指すもので、市内小学校で順次開催されています。市内キャラバン・メイトが講師となり、寸劇などを通じて認知症の人との接し方を学びました。参加した児童はサポーターの証しとして、オレンジリングを受け取りました。



バ頑張っていればきっと夢かなう タフライで憧れの全国

第18回全国障害者スポーツ大会の水泳競技に出場する抱負を語るため、伊藤江利菜さん(東町)が10月9日、柳澤市長を訪問しました。伊藤さんは「全国大会は夢だった。頑張っていれば夢はかなう」と全国出場の喜びを報告。「ずっと着たかった国体のジャージと水着。県のメンバーと一緒に泳ぐのも楽しみ」と話しました。【大会結果】水泳個人競技25mバタフライ/3位、50mバタフライ/4位

9月1日付で国から発表された高齢者叙勲。本市からは、地方自治功労で元浜岡町議会議員の水野正一さん(88・上朝比奈)が受章されました。

みずの まさいち 水野 正一さん

旭日単光章・地方自治功労

水野さんは昭和25年に池新田高校を卒業後、旧朝比奈村農業協同組合に就職しました。定年退職後の昭和62年4月、地域住民に推されて浜岡町議会議員に当選。平成11年4月までの3期12年の長きにわたり、豊富な経験と識見で、地方自治の発展に貢献しました。

平成7年5月からの約2年間は副議長を務めました。浜岡町総合運動場陸上競技場・野球場、町営住宅、町立図書館、デイ

サービスセンターの建設や、町立浜岡病院の増築、池新田工業団地の造成など、まちとしての大事業が相次ぐ中、地域福祉の向上のために最大限にその指導力を発揮し、議会をけん引。円滑な運営にその手腕を発揮しました。

また、子どもからお年寄りまでが楽しめるレクリエーションや憩いの場として、八千代公園や高松緑の森公園の整備などを積極的に推進しました。

